

# 「親の学びのプログラム出前講座」に609人が参加

◎出前講座は、保育園・幼稚園、PTAの保護者向け研修や、中・高校生向けの家庭科授業へ出前で実施しています。

## 幼稚園編

- 日時 平成29年1月16日
- 対象 白石市第二幼稚園保護者(70人)
- 内容 県・市の共催事業「学ぶ土づくり」を実施。県と市の家庭教育支援チーム員が、プログラム⑧「親と子のコミュニケーション」の出前講座を実施しました。



### 【参加した保護者の感想】

- ・心に余裕がないとイライラしたり、話しもゆっくり聞いてあげられず反省の毎日。こういう講座をきっかけに、子育てについてゆっくり考えていきたい。
- ・子育ての悩みについて、皆さんと共有することができ、自分だけではなかったと再確認しました。叱ることも必要ですが、褒めること、前向きな言葉かけの大切さを学びました。

## 中学校編

- 日時 平成28年11月7・14日
- 対象 白石中学校3年生(126人)
- 内容 プログラム⑤「未来の親となるあなたへ「親になるということ」」の出前講座を家庭科の授業で実施。授業では、3kgのリュックをお腹に抱えながら、高い所にある物をとったり、しゃがむなどの妊婦体験や、赤ちゃん人形の抱っこなど育児体験を行いました。また、自分とかわった人や物を振り返り、出会いの大切さを学習しました。



### 【参加した生徒の感想】

- ・人形の赤ちゃんだったけど、それだけでも温かい気持ちになったので、自分が本当に産む時がきたら、大切に育てていきたいと思いました。
- ・妊婦さんの大変さが分かったので、街で見かけた時は親切に接してあげたいと思いました。

## 小学校編

- 期間 平成28年9月～平成29年2月
- 対象 第一小、斎川小、福岡小、越河小、大鷹沢小、深谷小の新学期児童の保護者など(145人)
- 内容 プログラム⑥「子どもが小学校へ入学」やプログラム⑧「親と子のコミュニケーション」の出前講座を、発達検査や一日入学説明会などで実施。小学校に入学する際の不安や悩みをグループごとのワークショップ形式で話し合い、入学に向けた心の準備と、親同士の交流を行いました。



保護者からは「楽しかった」「勉強になった」などの感想がありました。

## 高校編

- 日時 平成28年12月12～14日
- 対象 白石高校1年生(268人)
- 内容 県の主催事業として、県家庭教育支援チーム員が出前講座を実施。市支援チーム員もスタッフとして協力し、プログラム⑤「未来の親となるあなたへ「親になるということ」」の出前講座を実施。未来の親になる高校生が、親への感謝の心と、親になる責任、命の大切さを学習しました。



### 【参加した生徒の感想】

- ・妊婦体験が印象に残りました。思っていたよりも動きが制限され、母親の大変さがわかった気がします。母親への感謝の気持ちを忘れることなく、親孝行な人間になると共に、自分も子どもに尽くせる親になりたいです。

# しろいし家庭教育支援チームが先生に！

## 幼稚園と小・中・高等学校で「親の学びのプログラム出前講座」を実施



◎生涯学習課（中央公民館内） ☎22-1343

家庭教育支援の推進にむけた市の取り組み

近年、家族構成の変化や、働き家庭の増加、育児に十分時間を取ることが出来ない雇用環境など、様々な要因で家庭の教育力低下が懸念されています。そのため、国（文部科学省）では、**家庭の教育力向上を図るため、親の学びを支援する「家庭教育支援」を推進**しています。また、その取り組みの一つとして、子育てサポーターや保健師、民生委員など、地域の人材によって構成する「家庭教育支援チーム」の設置を促し、本市では平成26年10月に「しろいし家庭教育支援チーム・ペアレントらん」が発足。市も連携し家庭教育支援の推進に向け取り組んでいます。

平成28年7月には、市内小学校校長会へ、同支援チームを先生役に「宮城県版親の学びのプログラム」の活用協力を依頼。学校関係者のご協力により、「親の学びのプログラム出前講座」の実施につながりました。

### 親の学びのプログラムとは

宮城県では、家庭教育支援の社会的課題（孤独な子育て、虐待や放任、しつけなど）に対応し、地域全体で子育て中の親の支援ができる環境づくりを進めるため、宮城県版親の学びのプログラムを作成（右表参照）。

第1弾では、親（保護者）を対象に、第2弾では、思春期の子どもを持つ親や、将来親になる中・高校生まで対象者を拡大し、豊富なプログラムとあっており、市では積極的な活用に取り組んでいます。

## 宮城県版親の学びのプログラム一覧

### 【第1弾プログラム】

「完璧な親なんていない…子育てしながら親になっていこう」

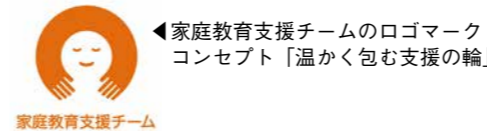
①	テーマ	対象者
①	「自分と向き合う」	全ての大人
②	「赤ちゃんが生まれて」	乳幼児を持つ親、関わる大人
③	「子育てと仕事の両立」	仕事を始めた親
④	「小さな社会へデビュー」	未就学児を持つ親
⑤	「第2子誕生」	子どもを持つ親
⑥	「子どもが小学校へ入学」	小学校に入学する子を持つ親
⑦	「お父さんの出番！」	子どもを持つ親
⑧	「親と子のコミュニケーション」	子どもを持つ親
⑨	「子どもの未来に寄り添っていこう」	全ての大人（震災後の心のケア）
⑩	「子育てって自分育ち？」	全ての大人

### 【第2弾プログラム】

「反抗期・思春期の子どもに向き合う＆将来親になるための準備」

①	テーマ	対象者
①	「これって反抗期？」	反抗期と思われる時期の子を持つ親や保護者
②	「思春期の子どもに向き合おう」	思春期の子を持つ親や保護者で、不安定な心や行動を不安に感じ理解したいと考えている方
③	「子どもの性に向き合おう」	思春期の子を持つ親や保護者で、子どもの性をどう捉え、対応したらよいか理解したいと考えている方
④	未来の親になるあなたへ「こんにちは！赤ちゃん」	親になるということを考えさせたい学生
⑤	未来の親になるあなたへ「親になるということ」	親になるということを考えさせたい学生

※プログラムの詳細は県ホームページをご覧ください。  
宮城県ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/site/katei/oyanomanabi-index.html>



◎家庭教育支援チームのロゴマーク  
コンセプト「温かく包む支援の輪」

私たちが  
お手伝い  
します！



しろいし家庭教育支援チーム

「ペアレントらん」のみなさん

代表 佐々木とし子さん（前左）

◎子育てサポーター養成講座（県主催事業）を開催します！

家庭教育支援チームの構成メンバーでもある「子育てサポーター」の養成講座が、大河原合同庁舎を会場に実施されます。参加を希望の方は、生涯学習課までご連絡ください。

●日時 6月1・8・15・22日（いずれも木曜日）計4回10:00～12:00